

木更津工業高等専門学校	開講年度	令和02年度(2020年度)	授業科目	計測工学Ⅱ
科目基礎情報				
科目番号	0083	科目区分	専門 / 必修	
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	機械工学科	対象学年	3	
開設期	後期	週時間数	2	
教科書/教材	前田良昭ほか著『計測工学』コロナ社, 2001年, 2700円+税/配布プリント/遠隔授業用オンデマンド資料			
担当教員	小田 功			

到達目標

1. 二次元データを整理する方法を理解し、知識を適用できる。
2. 最小二乗法を理解し、知識を適用できる。
3. 間接測定における誤差を理解し、知識を適用できる。
4. 代表的な物理量の計測機器の原理を理解し、知識を適用できる。

ループリック

	理想的な到達レベルの目安(優)	標準的な到達レベルの目安(良)	未到達レベルの目安(不可)
評価項目1	二次元データを整理する方法を理解し、知識を適用できる。	二次元データを整理する方法について説明できる。	二次元データを整理する方法について説明できない。
評価項目2	誤差の伝播を理解し、知識を適用できる。	誤差の伝播について説明できる。	誤差の伝播について説明できない。
評価項目3	代表的な物理量の測定法を理解し、知識を適用できる。	代表的な物理量の測定法について説明できる。	代表的な物理量の測定法について説明できない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 二次元データを整理する方法について学習する。 2. 最小二乗法の考え方について学習する。 3. 間接測定における誤差を計算で求める方法について学習する。 4. 代表的な物理量の計測機器について学習する。
授業の進め方・方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業は遠隔形式でおこない、毎回、課題を課す。 2. 教科書、配布資料、遠隔授業用オンデマンド資料に基づいて授業を進めていく。 3. この科目は学修単位科目のため、事後学習として課題を課す。 4. 授業90分間にに対して180分以上は予習、復習や課題実施の時間に充てること。
注意点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 計算を多用するので、関数電卓を用意すること。 2. 配布資料を紛失することのないよう、ファイリングしておくこと。 3. 課題の期限内提出を厳守すること。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	検定	有限個の測定値から母平均を推定する方法を理解し、知識を適用できる。
		2週	間接計測における誤差 1	直接測定と間接測定の違いを理解し、知識を適用できる。 間接測定では複数の測定誤差が影響することを理解し、知識を適用できる。
		3週	間接計測における誤差 2	誤差の伝播と誤差等分の原理を理解し、知識を適用できる。
		4週	二次元データの評価	二次元データから散布図を描き、相関係数を求める方法を理解し、知識を適用できる。
		5週	最小二乗法 1	観測方程式から最確值を求める方法を理解できる。
		6週	最小二乗法 2	観測方程式から最確值を求める方法を理解し、知識を適用できる。
		7週	回帰直線	最小二乗法を用いて回帰直線を求める方法を理解し、知識を適用できる。
		8週	変位や位置の測定 1	変位や位置の代表的な測定法を理解し、知識を適用できる。
後期	4thQ	9週	変位や位置の測定 2	変位や位置の代表的な測定法を理解し、知識を適用できる。
		10週	変位や位置の測定 3	変位や位置の代表的な測定法を理解し、知識を適用できる。
		11週	力や圧力の測定	力や圧力の代表的な測定法を理解し、知識を適用できる。
		12週	温度の測定	温度の代表的な測定法を理解し、知識を適用できる。
		13週	ジャイロセンサ	回転運動の代表的な測定法を理解し、知識を適用できる。
		14週	超音波センサ 1	位置や膜厚の代表的な測定法を理解し、知識を適用できる。
		15週	超音波センサ 2	流量の代表的な測定法を理解し、知識を適用できる。
		16週	後期定期試験	試験実施

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	課題	その他	合計
総合評価割合	20	0	0	0	0	80	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	20	0	0	0	0	80	0	100

分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0
---------	---	---	---	---	---	---	---